

## 「プラズマ分光分析研究会」設立趣意書

最近の我国におけるプラズマ発光分析法の普及にはめざましいものがあり、また将来においても益々の発展が期待されております。このように急速に装置および測定法が普及する状況におきましては、装置の規格、性能、応用性に関して詳細な情報が提供され、それぞれの研究および業務分野において有効かつ適正に使用されることが望まれます。さらに、プラズマ発光分析法の応用分野は、理、工、農、薬、医学など諸々の学問分野と関連した基礎研究、技術開発、製品製造および管理等々極めて幅広く、測定法および応用成果に関して情報交換が広く行われることが望まれております。欧米におきましても、既に二、三の情報普及の活動が行われております。このような状況を考えますと、機器メーカーおよび商社を含めた研究会の発足は、我国におけるプラズマ発光分析法を中心とした原子スペクトル分析法の普及、発展に寄与すると共に、新しい研究、技術開発にも結びつき、同時に国際的対応の基礎となり得るもとと考えられます。

この度、上記の趣旨のもとに、大学、研究機関の研究者および関連機器メーカー各位のご賛同を得て「プラズマ分光分析研究会」を設立致しました。本研究会は今後全国的な規模で広く会員を募集し、講演会、会誌発行、共同研究等の諸活動を通じて会員諸兄の実務、研究に貢献すると共に、プラズマ発光分析法の一層の発展を計ることをその目的としております。就きましては、この分野に関係される皆様で本研究会の設立趣意にご賛同頂けます場合には、会員としてご参加頂き、本研究会の発展にお力添えを賜りたく御願ひ申し上げます。

1980年12月

### プラズマ分光分析研究会

会 長 不破 敬一郎 (東大理)  
副会長 遠山 健次郎 (島 津)  
事務局 原口 紘丞 (東大理)

〒113 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学理学部化学教室内

※ 本会の世話人として、次の方々にご賛同頂いております。

厚谷 郁夫 (北見工大)、秋山 喬 (ジャスコインターナショナル)、内田 弘 (神奈川工試)、河口 広 (名大工)、斎藤 行宣 (安部商事)、坂根 康介 (柳本製作所)、佐藤 公隆 (新日鉄)、中原 武利 (大阪府大)、浜田 節夫 (日本ジャーレル・アッシュ)、広川 吉之助 (東北大金材研)、吹野 博志 (第二精工舎)、松本 和典 (金商又一)、宮崎 章 (公害資源研)、森田 昌敏 (国立公害研)